



Project Center

Newsletter **Vol.15**

Graduate School of Economics
Kyoto University



Contents

目次

*プロジェクトセンター

p03 - Foreword ご挨拶

p04 - Projects プロジェクト一覧

理論・実証を統合する数理ファイナンス研究教育拠点形成

マクロ経済学に関する理論・実証研究の研究教育拠点

国際貿易に関する理論・実証研究の拠点形成と大学院教育の高度化

スマート・グリッド・エコノミクス

企業間関係と境界のマネジメントの計量的・質的分析手法の研究

経済動学研究プロジェクト「新しい経済動学の研究と教育の拠点形成」

学生相談プロジェクト

データ科学教育研究推進プロジェクト

*企画戦略室・研究推進室

p16 - Seminar series 2024年度 公認セミナー開催一覧

p22 - KAKENHI Adopter status 令和7年度 科研費採択状況

p24 - KAKENHI Adoption list 令和7年度 科研費採択者一覧

p25 - Web of Science 経済学研究科書誌データ（2024年）

p28 - Discussion Papers ディスカッション・ペーパー発行状況
(2024年度)

プロジェクトセンター

Foreword

ご挨拶

京都大学大学院経済学研究科附属プロジェクトセンターは、(1)現代産業社会活性化のためのプロジェクト型研究を組織し、(2)教育技法・教材の開発、産業社会の分析などを行うことにより、広く経済学・経営学の教育研究の向上に寄与することを目的として、平成12年11月に設立されました。プロジェクトセンターは、専任および兼任の教員から構成され、その運営は「プロジェクトセンター運営協議会」が行っております。

プロジェクトセンターでは、上記(1)の目的を達成するため、「大学院教育研究高度化プロジェクト」を募集し、プロジェクトセンター運営協議会で審査の上、平成22年度に5件、平成25年度に1件、平成26年度に1件のプロジェクトを採択し現在に至っています。また、上記(2)の目的を達成するため、任期付きの若手研究者の積極的登用などを進め、現在4名の専任教員が採用されております。

学外との交流に関しては、各プロジェクトと関連のある研究者をリサーチ・フェローとしてセンターのメンバーに加えるとともに、先端的研究を行っている講師を招聘して各種セミナー等を開催し、プロジェクトの発展と普及につとめています。これらプロジェクトセンターの成果の一部は、経済学研究科の「ディスカッションペーパーシリーズ」として公表されています。

このように、プロジェクトセンターでは、産官学連携活動を視野に入れたプロジェクト型研究の強化に努めてまいりましたが、本研究科の従来型の人事採用制度にとられない弾力的な若手研究者の積極的採用にも大きな貢献を果たしてきました。平成23年度には、戦略定員枠で初めてのマネジメント・プロフェッサー教員を採用するとともに、すでに事実上先行して開始されているテニユア・トラック制を、平成24年度からは本研究科の新しい人事採用制度として活用しています。

今後とも、学内外の皆様方のご協力をお願い申し上げます。

京都大学大学院経済学研究科附属プロジェクトセンター長

神事 直人

Projects

プロジェクト一覧

理論・実証を統合する
数理ファイナンス研究教育拠点形成

プロジェクトリーダー 江上 雅彦

スマート・グリッド・エコノミクス

プロジェクトリーダー 依田 高典

企業間関係と境界のマネジメントの
計量的・質的分析手法の研究

プロジェクトリーダー 若林 直樹

経済動学研究プロジェクト
「新しい経済動学の研究と教育の拠点形成」

プロジェクトリーダー 佐々木 啓明

国際貿易に関する理論・実証研究の
拠点形成と大学院教育の高度化

プロジェクトリーダー 神事 直人

マクロ経済学に関する
理論・実証研究の研究教育拠点

プロジェクトリーダー 遊喜 一洋

学生相談プロジェクト

プロジェクトリーダー 北田 雅

データ科学教育研究推進プロジェ
クト

プロジェクトリーダー 秋田 祐哉

スマート・グリッド・エコノミクス

プロジェクトリーダー 依田 高典（経済学研究科 教授）

プロジェクト研究概要

本プロジェクトでは、フィールド実験のランダムイズド・エクスペリメント手法を用いて、電力消費に関する個票データに基づいて、ピークカット・ピークシフトのトリートメント効果評価を行い、それら経済効果の日米国際比較を通じて、日本のスマートグリッドの経済効果の測定を行う。

研究方法

本研究の基礎となるフィールド実験のランダムイズド・エクスペリメント (Randomized Experiment, RE) 手法の学問的背景について説明する。米国エネルギー省では、連邦予算に基づくスマートグリッド社会実験のガイドラインを策定し、経済効果を正しく測定するために、産官学のテクニカル・アドバイザリー・ボードを立ち上げ、RE社会実験を推奨している。RE社会実験は既に開発経済学や労働経済学の分野ではセルフセレクトション・バイアスを排除して真のトリートメント効果を得るための必須なツールとして定着しているが、今後、大規模な産業政策へも適用が求められていくと予想される。

期待される成果

研究のカバーする範囲は、経済産業省が現在、推進しているスマートグリッド国内実証プロジェクトの個票データを用いて、①時間帯別料金・ピーク料金・オフピーク料金などのダイナミックプライシング、②電力消費の見える化など、情報提供を主要としたトリートメント効果である。また、どれだけの①総電力消費量削減、②電力消費デマンドピークカット、③電力消費デマンドピークシフトがあったかを定量的に測定する。こうした経済効果をもとに、電力不足が懸念される日本経済においてどのような料金体系を作れば良いのか、有用な需要弾力性情報が得られる。小売り全面自由化や発送電分離など、将来の電力産業の規制改革において、スマートグリッドを活用したデマンド・レスポンスの経済効果は事業者・政府の双方にとって貴重な参考資料として活用される。

Projects

プロジェクト活動

環境省ナッジ事業

2019年度、依田 高典 京都大学教授（事業代表者）、伊藤 公一朗 シカゴ大学教授（海外アドバイザー）、北川 透 ブラウン大学経済学部 教授（海外アドバイザー）の研究グループは、環境省の委託事業として、boost technologies 株式会社やロバスト・ジャパン（株）と協働して、世帯の節電・省エネのフィールド実験に取り組んでいます。2019年度冬期には、来年度以降の実証事業の大規模な展開を見据え、7日間の「無理せず楽しく節電!DAY」プロジェクトを企画・運営し、協力小売電気事業者の需要家約700世帯を対象に、報酬（リベート）の提供が節電行動に与える効果を検証するための実証実験を行いました。

プロジェクトメンバー

リサーチフェロー

伊藤 公一朗

（シカゴ大学公共政策大学院ハリススクール Professor）

牛房 義明（北九州市立大学教授）

学外研究協力者

田中 誠（政策研究大学院大学教授）

後藤 励（慶應義塾大学教授）

王 文傑（南洋理工大学助教）

村上 佳世（関西学院大学経済学部准教授）

企業間関係と境界のマネジメントの計量的・質的分析手法の研究

プロジェクトリーダー 若林 直樹（経済学研究科 教授）

プロジェクト研究概要

本プロジェクトは、企業間システムにおけるイノベーションについて企業経済学、経営学、会計学において共通の学際的な課題である企業間関係における「境界のマネジメント」という視点から、そのメカニズムを分析・解明しようとするものです。企業が「境界をどのように設定し、境界内と境界外で要素間の相互作用をどのように制御するのか」は日常の精算分業だけではなく、社会的なイノベーションから見ても興味深い分析です。2009－11年度までは、生産活動とその革新の成否を大きく左右する要因となる。自動車、バイオテクノロジー、サービスの三つの産業を主たる題材として実証分析を行なってきました。

今年は、企業間関係と企業境界の経営学的な理論研究をベースにしながら、関西バイオクラスターの持つ地域の組織間ネットワークと研究開発能力の特性について分析を行っています。関西地方は、バイオテクノロジーの研究開発の面に於いては、本学や大阪大学、理研をはじめとした世界最先端の研究機関だけではなく、製薬、生化学、食品産業などの産業が集積しています。「関西バイオクラスター」は、そうした面で、日本有数のバイオテクノロジーのクラスターであり、研究開発だけではなく、産業集積の面でもトップクラスです。関西バイオクラスターを事例にしながら、日本のバイオクラスターが持つ地域的な研究開発能力（Regional Capabilities）について、産官学の研究開発ネットワークの構造的な進化とそこにおける知識移転のメカニズム、そしてその事業化を支える産業のネットワークについての研究を行っております。

2000年代に於いて、欧州だけではなく、米国の一部でも、いわゆる「シリコンバレー複製政策」という産業クラスター政策のあり方が、それぞれの経済の事情いわゆる制度的文脈を無視して進められたために、限界が指摘されつつあります。日本においても、ハイテク起業については、研究者の少ないスピンオフ、低い起業意欲、系列的な取引の比重の高さ、世界的に展開しつつある新規の研究開発分野への参入の低さなどの様々な経済制度上の特徴が指摘されつつあります。こうした制度的な違いを意識しつつ、バイオクラスターにおける産官学の組織間ネットワークのあり方、その協働の経済的なメカニズム、そしてその成果について国際比較の観点から研究しております。

Projects

プロジェクト活動

研究方法

1. 年数回の研究会先端的な研究者、実務家、政策当局者等を招き、定期・不定期のセミナーを実施する事で交流拠点を形成、問題意識を共有し、研究活動の成果を発信しています。
2. 国際的な調査による比較研究米国サンディエゴ、リサーチ・トライアングル、ウィンスコンシン州マジソン、英国ケンブリッジ、スコットランド、ベルギー、ドイツのミュンヘン、フランス・ストラスブール、台湾の台南リサーチパークなどの訪問調査を行いつつ、関西バイオクラスターの持つ産官学の組織間ネットワークの特徴について国際比較しております。
3. 国際的な研究ワークショップ、研究学会への参加欧州組織学会、アジア経営学会などの各種学会や、ワシントンのUSIJセミナー、ストラスブール大学経済研究所（BETA）での国際セミナー、ICEMS（京都大学幹細胞研究拠点）での国際ワークショップに参加しながら、国際的なバイオテクノロジーの研究者との研究交流を進めています。なお、一部成果は、日本経済新聞、読売新聞などの紙面や、先端医療振興財団、四国経済連合会などの一般セミナーでも発表しております。
4. 東京工業大学の仙石先生と密接な協力関係を持ちながら、バイオテクノロジーの先端的研究拠点の活動について研究を進めています。
5. 「企業境界」に関する企業理論研究者との協力企業境界に関わる理論研究者との協力を持ちながら、理論的な面からの考察を行っています。

協力する科研費プロジェクト

次の科研費プロジェクトに関係しながら進めております。

1. 「関西バイオクラスターにおける研究開発ネットワークの構造進化と事業化能力の国際比較」（文科省科研費基盤（B）／研究代表者：若林直樹／2010-2012年／課題番号22330114）
2. 「日本型企业間分業の変容と日本企業の競争力」（文科省科研費基盤（A）／武石彰 京都大学経済学研究科教授代表／2012-2014年／課題番号24243046）
3. 「バイオテック企業の経営状況及び経営環境の網羅的調査と地域・分野間比較」（文科省科研費基盤（B）／仙石慎太郎東京科学大学環境・社会理工学院教授代表／2014-16年／プロジェクト番号26301022）

プロジェクトメンバー

部局内研究協力者

依田 高典(京都大学教授)

学外研究協力者

仙石 慎太郎(東京科学大学環境・社会理工学院教授)

中本 龍市(大阪公立大学大学院経営学研究科教授)

山田 仁一郎(京都大学経営管理大学院教授)

稲垣 京輔(法政大学経営学部教授)

理論・実証を統合する数理ファイナンス研究教育拠点形成

プロジェクトリーダー 江上 雅彦 理事・副学長（前 経済学研究科 教授）

プロジェクト研究概要

ファイナンス工学、行動ファイナンスは数理的アプローチにより目覚ましい進歩を遂げている。一方で様々な領域（ミクロ・マクロ経済学、制御理論、ゲーム理論等）との積極的な交流を通じて、常に新しい問題意識を持ち、問題解法を可能にする数理的手法の習得なくしては先端的研究を推進することは難しくなっていることも事実である。そこで本プロジェクトでは、各々の分野の専門家との意見交換、共同研究を積極的に行うことをサポートし、本研究科における研究推進を目的とする。また数理ファイナンスは、例えば派生証券の価格付け・投資家の市場行動を分析対象とすることに鑑み、実証研究を同時に進行させ、理論・実証を統合する形で研究教育拠点の確立を目指したい。

研究方法

1. 先端的な研究者、実務家、政策当局者等を招き、定期・不定期のセミナーを実施する事で交流拠点を形成、問題意識を共有し、多方面から問題解決を図る。この関連で21年度後期に経営管理大学院の協力のもと、「金融工学GPセミナー」を既に実施している。（内外の研究者を8名招聘）
2. 実証研究をすすめるために金融機関からリサーチフェロー・博士後期課程編入を受け入れ、共同研究および研究指導をおこなうことで実務家のニーズを把握する。またマーケットデータベースの構築を図り、在学中の本学大学院生に対しても幅広く研究課題をオファーしていきたいと考える。
3. 教育面に関しては数理的な要素が強い分野であるため、講義等によって、バックグラウンドの異なる学生（学部・大学院生）に対し一様な成果を達成することは容易ではない。ひとつの方策として、レクチャーノートを可能な限り標準化（準備が不十分な学生に対しては補助教材を整備）し、講義の難易度レベルおよびクオリティを一定に維持したいと考えている。

プロジェクトメンバー

部局内研究協力者

若井 克俊（京都大学教授）

リサーチフェロー

重田 雄樹（東京経済大学准教授）

学内研究協力者

原 千秋（京都大学経済研究所教授）

学外研究協力者

関根 順（大阪大学教授）

敦賀 貴之（大阪大学教授）

経済動学研究プロジェクト

「新しい経済動学の研究と教育の拠点形成」

プロジェクトリーダー 佐々木 啓明（経済学研究科 教授）

プロジェクト研究概要

経済学が始まって以来、「経済成長や景気循環の分析」は、経済学の最重要テーマであり、理論経済学の核心的研究である。経済理論は、現実の経済社会の要素をモデル化し、その本質を捉えることを目的としている。本プロジェクトは、新古典派や非新古典派といった学派の枠を超え、多様な学派の経済理論の存在を前提として、経済理論および現実の経済社会を重視し、「経済社会の本質を解明すること」を目指し、「現実の経済現象を的確に捉えた経済動学理論のモデル構築」に挑む。

プロジェクト・メンバーと学外研究協力者との共同研究を通じて、「新しい経済動学理論の構築と発展」を目指し、研究拠点の形成を図る。さらに、大学院生に対して、当該分野の研究に必要となる分析手法の教育を行う。その一環として、国内外の研究者が参加するセミナー・研究会を開催し、最新の研究成果に触れる機会を提供する。また、大学院生が研究報告を行う機会を提供する。

プロジェクトメンバー

リサーチフェロー

小川 翔吾（横浜国立大学准教授）

岡原 直人（福井県立大学 助教）

学外研究協力者

大野 隆（同志社大学教授）

黒瀬 一弘（東北大学教授）

藺田 竜之介（佐賀大学教授）

吉田 博之（中央大学准教授）

国際貿易に関する理論・実証研究の 拠点形成と大学院教育の高度化

プロジェクトリーダー 神事 直人（経済学研究科 教授）

プロジェクト研究概要

我が国は伝統的に国際貿易論の分野において優れた研究者を輩出してきており、現在でも世界的に見てこの分野の研究が最も活発に行われている国の一つである。このことは、我が国がエネルギー等の天然資源の多くを輸入に頼るとともに、輸出が国内経済の牽引役となっているなど、国際貿易が我が国経済において重要な役割を果たしていることと密接に関係していると考えられる。

これに対して、本研究科は国際貿易論の分野で国際的に活躍できる人材を恒常的に育成できる機関となるポテンシャルを有しており、実際にそうした機関となる意義は大きいと考えられる。そのためには、当該分野で最先端の研究を行うとともに、大学院教育のあり方を改善していくことが求められる。

そこで、本プロジェクトは、理論研究と実証研究の両面から国際貿易論の最先端の研究を行うとともに、大学院生やPDらの若手研究者が国際的に活躍できる力を養うための教育プログラムの開発を行っていくことを目的とする。

プロジェクトメンバー

部局内研究協力者

川口 薫喜（京都大学博士後期課程）

リサーチフェロー

鎌田 伊佐生（新潟県立大学教授）

阪本 浩章（神戸大学准教授）

マクロ経済学に関する理論・実証研究の研究教育拠点

プロジェクトリーダー 遊喜 一洋（経済学研究科 教授）

プロジェクト研究概要

本プロジェクトは、現代のマクロ経済学の急速な進歩にキャッチアップし、社会・学界に貢献する研究成果を目指しています。また、研究者や実務家との間との交流、意見交換、問題意識の共有を通じて、理論・実証研究の両面から本研究科のマクロ経済学の研究推進拠点を形成することも本プロジェクトの目的です。

研究概要

本プロジェクトは、マクロ経済学における応用分野（財政・金融政策、経済成長、経済危機等）の領域について、政策的インプリケーションを提示することを目的にプロジェクトを遂行しています。とりわけ、ミクロ・マクロ両面からのデータの理解を基礎として、観察されるマクロ経済データのパターンを解明する理論モデルの構築等に重点を置きながら、研究に取り組んでいます。また、絶えず変化にさらされているマクロ経済を様々な観点から把握するため、国内外の研究者との交流、意見交換、問題意識の共有に積極的に取り組んでいます。具体的には、定期的に「応用マクロ経済学セミナー」を開催し、本学の研究者・大学院生、ポスドクターだけでなく、学外の研究者にも広く参加を呼びかけています。このような研究活動を通じて、本プロジェクトはマクロ経済学の研究・教育拠点形成に努めています。

プロジェクトメンバー

部局内研究協力者

西山 慎一（京都大学教授）

学外研究協力者

敦賀 貴之（大阪大学教授）

学生相談プロジェクト

プロジェクトリーダー 北田 雅（経済学研究科 講師）

プロジェクト概要

文部科学省が昨年発表した平成27年度学校基本調査では、学部卒業者の就業年数別卒業状況のうち、所定の修業年数4年で卒業したものは、79.9%にあたる。すなわち、大学生5名に1人は、留年をしている状況にある。大学卒業者の就職率は現在70%前後であり、いわゆる就職浪人や資格取得等の特定の目的のため留年する者も存在すると考えられる反面、学習意欲の低下や学習能力の欠如等による留年者も多数いると考えられる。

これまで、本学経済学部では自学自習の精神より、長期欠席者や留年者、単位不足者の動向はほとんど感知しておらず、平成26年度の本学経済学部における留年者比率（留年者数 / 学生数）は、0.094であり、本学10学部のうち上位5番目となっている。今回、上記提言に沿う形で、留年率の低減策について検討を行うこととなり、その過程で留年する可能性のある学生を早期に検出する方法を確立することを目的とする。

研究方法

アンケートを行う。経済学部学部生が、全員受講することとなっている「入門演習」において、「学生実態調査」を記述式によって実施し、「学生生活実態調査」回答項目と単位取得率において、何らかの関連性がないか分析する。

期待される成果

未然もしくは早期に、長期欠席者や留年する可能性のある学生を検出する方法の確立

プロジェクトメンバー

部局内研究協力者

依田 高典（京都大学教授）

リサーチフェロー

部局内研究協力者

井上 恵美子（京都大学大学院地球環境学堂特定研究員）
（日本学術振興会特別研究員RPD）

学外研究協力者

奥井 亮（東京大学教授）

データ科学教育研究推進プロジェクト

プロジェクトリーダー 秋田 祐哉（経済学研究科 教授）

プロジェクト概要

過去数十年にわたり、経済学におけるデータの重要性は一層高まり、その分析手法も著しく進歩してきた。経済・社会にかかわる種々のデータが整備され、多様なデータを連係して分析して知見を得ることが、これまで以上に可能となってきた。さらに今日では、大規模なデータを踏まえたデータ科学的な統計的学習理論や各種の機械学習手法、とりわけ深層学習の発展が著しく、因果推論など経済学のモデルとの融合も進んでいる。また、大規模言語モデル（LLM）などのAI技術の急速な発展に伴い、伝統的なデータの利活用手法を超えた、新たな研究の可能性も生まれている。

本プロジェクトでは、データ科学分野の知見を活用しつつ、計量経済学と統計学を中心に据え、学部生や大学院生が経済現象を分析する手法を修得できる環境を整えることを目的とする。また、計量分析や文理融合研究等を推進し、その研究に大学院生の参加を促すことで、次世代の研究者育成も目指す。

プロジェクトメンバー

部局内研究協力者

山田 憲（京都大学教授）

数村 友也（京都大学講師）

安井 大真（京都大学教授）

羽村 靖之（京都大学講師）

柳 貴英（京都大学准教授）

山崎 潤一（京都大学准教授）



企画戦略室・研究推進室

Web of Science

経済学研究科教書誌データ(2024年)

教員名	役職	本務部局	文献タイトル	著者名一覧	文献タイプ	出版物名	巻	号	開始 ページ	終了 ページ
依田 高典	教授	経済学 研究科	Net-Zero Energy House-OrientedLinear Programming for the Sizing Problem of Photovoltaic Panels and Batteries	Daniel Carnerero, A.; Tanaka, Taichi; Li,Mengmou; Hatanaka, Takeshi; Wasa, Yasuaki;Hirata, Kenji; Ushifusa, Yoshiaki; Ida,Takanori	Article	IEEE ACCESS	12	*	80429	80441
			Synergy between monetary andnon- monetary interventions:experimental evidence on crowdfunding techniques for R&D in new energy sources	Kawamura, Tetsuya; Ida, Takanori; Ogawa,Kazuhito	Article	APPLIED ECONOMICS	*	*	*	*
			Bayesian probability revision and infection prevention behavior in Japan: A quantitative analysis ofthe first wave of COVID-19	Kinoshita, Shin; Sato, Masayuki; Ida, Takanori	Article	RESEARCH IN ECONOMICS	78	4	*	*
佐々木 啓明	教授	経済学 研究科	The future of growth and distribution in an economy with automation technology	Sasaki, Hiroaki	Article	JOURNAL OF ECONOMICS	145	1	1	30
			Does international trade lead to uneven development orconvergent growth?	Sasaki, Hiroaki	Article	JOURNAL OF INTERNATIONALTRADE & ECONOMICDEVELOPMENT	*	*	*	*
			Effects of exhaustible resources and declining population on economic growth with Hotelling's rule	Sasaki, Hiroaki; Mino, Kazuo	Article	INTERNATIONAL REVIEW OFECONOMICS & FINANCE	94	*	*	*
神事 直人	教授	経済学 研究科	Margins, concentration, and the performance of firms ininternational trade: Evidence from Japanese customs data	Ito, Keiko; Endoh, Masahiro; Jinji, Naoto; Matsuura, Toshiyuki; Okubo, Toshihiro; Sasahara, Akira	Article	JOURNAL OF THE JAPANESEAND INTERNATIONALECONOMI ES	75	*	*	*
			Do deep regional trade agreements facilitate international research collaboration?	Jinji, Naoto; Zhang, Xingyuan; Haruna, Shoji	Article	ECONOMICS OF INNOVATIONAND NEW TECHNOLOGY	*	*	*	*
			Gravity for cross-border licensing and the impact of deep tradeagreements: Theory and evidence	Jinji, Naoto; Sawada, Yukiko; Zhang,Xingyuan; Haruna, Shoji	Article	CANADIAN JOURNAL OFECONOMICS- REVUECANADIENNE D ECONOMIQUE	57	3	836	869
牧野 成史	教授	経済学 研究科	Events and entrepreneurial passion: The moderating role of event coping competence	Li, Megan Yuan, Luo, Lingli, Makino, Shige	Article; Ear	EUROPEAN MANAGEMENTREVIEW	*	*	*	*
矢野 剛	教授	経済学 研究科	Effects of listing on the financial behavior of private-sector firms in China	Yano, Go; Shiraishi, Maho; Xu, Gang	Article	PACIFIC-BASIN FINANCEJOURNAL	85	*	*	*
遊喜 一洋	教授	経済学 研究科	Language education and economic outcomes in a bilingual society	Yuki, Kazuhiro	Article	JOURNAL OF ECONOMICBEHAVIOR & ORGANIZATION	226	*	*	*
岩崎 康平	准教授	経済学 研究科	Credibility of central banks in monetary economies	Iwasaki, Kohei	Article	ECONOMICS LETTERS	243	*	*	*

Web of Science

経済学研究科教書誌データ(2024年)

教員名	役職	本務部局	文献タイトル	著者名一覧	文献タイプ	出版物名	巻	号	開始 ページ	終了 ページ
セルメス 鈴木寛之	准教授	経済学 研究科	Investment centre manager's multiperiod fairness perceptions and intertemporal dependency	Selmes-Suzuki, H	Article;Earl yAccess	ACCOUNTING AND FINANCE	*	*	*	*
			Preparing for serendipity: an illustrative analysis of participation in the field	Chapman, C (Chapman, Christopher);Kimura, A (Kimura, Asako); Sawabe, N(Sawabe, Norio); Selmes- Suzuki, H(Selmes-Suzuki, Hiroyuki)	Article	ACCOUNTING AUDITING &ACCOUNTABILITY JOURNAL	37	3	816	839
羽村 靖之	講師	経済学 研究科	Posterior robustness with milder conditions: Contamination models revisited	Hamura, Yasuyuki; Irie, Kaoru; Sugasawa,Shonosuke	Article	STATISTICS & PROBABILITYLETTERS	210	*	*	*
			Sparse Bayesian Inference on Gamma- Distributed Observations Using Shape-Scale Inverse-Gamma Mixtures	Hamura, Yasuyuki; Onizuka, Takahiro;Hashimoto, Shintaro; Sugasawa,Shonosuke	Article	BAYESIAN ANALYSIS	19	1	77	97
田所 篤	講師	経済学 研究科	Optimal policy against distortions caused by monopolistic competition and variable markup pricing	Tadokoro, Atsushi	Article	ECONOMICS LETTERS	237	*	*	*
Yu Yijun	特定助教	経済学 研究科	Maternal education and child survival: causal evidence from Kenya	Nguyen-Phung, Hang Thu; Yu, Yijun; Nguyen,Phuc H.; Le, Hai	Article	REVIEW OF ECONOMICS OF THEHOUSEHOLD	*	*	*	*
小林 舞	特定助教	経済学 研究科	Fifty years of Teikei: the evolution of the movement's ten principles and its impact on alternative food initiatives in Japan	Kondo, Chika; Zollet, Simona; Kobayashi, Mai;Yamamoto, Nami	Article	FRONTIERS IN SUSTAINABLEFOOD SYSTEMS	8	*	*	*
関口 倫紀	教授	経営管理 大学院	There is nothing like staying at home: Japanese employees' dispositional resistance to changeand their expatriation willingness	Yamao, Sachiko; Sekiguchi, Tomoki	Article	JOURNAL OF GLOBAL MOBILITY-THE HOME OF EXPATRIATEMANAGEMENT RESEARCH	12	4	573	590
			Fostering psychological capital self-efficacy in emerging femaleleaders: Practical insights from aninternational leadership development program	Round, Heather; Yamao, Sachiko; Shao, Bo;Klonek, Florian; Sekiguchi, Tomoki; Newman,Alexander	Article	ORGANIZATIONAL DYNAMICS	53	4	*	*
			Platform-DependentEntrepreneurship: A Systematic Review	Yu, Songping; Sekiguchi, Tomoki	Article	ADMINISTRATIVE SCIENCES	14	12	*	*
			Expatriates' boundary-spanning:double- edged effects in multinational enterprises	Liu, Ting; Sekiguchi, Tomoki; Qin, Jiayin; Shen,Ya Xi	Article	JOURNAL OF INTERNATIONALBUSINESS STUDIES	*	*	*	*

Web of Science

経済学研究科教書誌データ(2024年)

教員名	役職	本務部局	文献タイトル	著者名一覧	文献タイプ	出版物名	巻	号	開始 ページ	終了 ページ
関口 倫紀	教授	経営管理大学 院	Political leaders' identity leadership and civic citizenship behavior: The mediating role of trust in fellow citizens and the moderating role of economic inequality	Monzani, Lucas; Bibic, Kira; Haslam, S.Alexander; Kerschreiter, Rudolf; WilsonLemoine, Jeremy E.; Steffens, Niklas K.;Akfirat, Serap Arslan; Ballada, ChristineJoy A.; Bazarov, Tahir; Aruta, John JamirBenzon R.; Avanzi, Lorenzo; Bunjak,Aldijana; Cerne, Matej; Edelmann,Charlotte M.; Epitropaki, Olga; Fransen,Katrien; Garcia-Ael, Cristina; Giessner,Steffen; Gleibs, Ilka; Godlewska-Werner,Dorota; Kark, Ronit; Gonzalez, AnaLaguia; Lam, Hodar; Lupina-Wegener,Anna; Markovits, Yannis; Maskor,Mazlan; Alonso, Fernando Jorge Molero;Leon, Juan Antonio Moriano; Neves,Pedro; Pauknerova, Daniela; Retowski,Sylwiusz; Roland-Levy, Christine;Samekin, Adil; Sekiguchi, Tomoki; Story,Joana; Stouten, Jeroen; Sultanova, Lilia;Tatachari, Srinivasan; van Bunderen,Lisanne; Van Dijk, Dina; Wong, Sut I.; vanDick, Rolf	Article	POLITICAL PSYCHOLOGY	*	*	*	*
山田 仁一郎	教授	経営管理大学 院	Coping With Competing RoleExpectations: How DoIndependent Directors MakeSense of Their Role?	Yamada, Jin-ichiro; Yoshikawa, Toru	Article	JOURNAL OF MANAGEMENT	*	*	*	*
山内 裕	教授	経営管理大学 院	Tradition, entrepreneurship, and innovation: The craft of Japanesefine dining	Yamauchi, Yutaka; Hjorth, Daniel	Article	STRATEGICENTREPRENEURSHIP JOURNAL	*	*	*	*
澤邊 紀生	教授	経営管理大学 院	Preparing for serendipity: anillustrative analysis of participationin the field	Chapman, C (Chapman, Christopher); Kimura,A (Kimura, Asako); Sawabe, N (Sawabe,Norio); Selmes-Suzuki, H (Selmes-Suzuki,Hiroyuki)	Article	ACCOUNTING AUDITING &ACCOUNTABILITY JOURNAL	37	3	816	839
竹内 憲司	教授	地球環境学堂	Electricity storage or transmission? Comparing social welfare between electricityarbitrages	Yagi, Chihiro; Takeuchi, Kenji	Article	ENERGY ECONOMICS	140	*	*	*

Seminar series			
2024年度 経済学研究科公認セミナー開催一覧(セミナー名五十音順)			
日付	講師 (敬称略)	所属・職位	演題
アジア経済発展論研究会セミナー			
4/8	Asad Islam	Professor, Monash University	"Improving Health and Safety in the Informal Sector: Evidence from a Randomized Trial in Bangladesh"
7/4	田中 智章	国際協力機構 (JICA)	"Extensive and Intensive Margins of Informal Workers' Public Pension Demand: Evidence from a MongolianPension Reform"
8/9	澤田 康幸	東京大学・教授	"Food Transfers and Social Distancing: Evidence from the Bayan Bayanihan Program in the Philippines"
	高野 久紀	京都大学・准教授	"Decomposing Inclusive Growth: Application to Household Survey Data in Vietnam"
	柳本 和春	CEMFI・大学院生	"A Quantitative Model of Non-Marriage and Fertility"
	Elizaveta Kugaevskaia	大阪大学・大学院生	"Church and Voting Behavior: Evidence from Russia"
10/24	Hyunjae KANG	京都大学 経済研究所 助教	"Compensation vs. Reinforcement: Experimental Identification of Parental Aversion to Inequality in Offspring"
12/5	山崎 潤一	京都大学経済学研究科・准教授	"Regime Change and Cities: Evidence from the Meiji Restoration"
12/13	Nattapong Puttanapong	Assistant Professor, Thammasat University	"An Integrated Framework for Satellite-based Flood Mapping and Socioeconomic Risk Analysis: A Case of Thailand"
1/7	Gedeon Lim	Assistant Professor, University of Hong Kong	"CIVILIAN KILLINGS AND LONG-RUN DEVELOPMENT: EVIDENCE FROM THE KOREAN WAR"
アジア経済発展論研究会セミナー (続き)			
2/20	Hassan Sulaiman	京都大学 農・博	"The Role of Signboards in Facilitating Farmer-to-Farmer Extension: Evidence from Rice Management Training Programs in Rainfed Mozambique"
	Han Yunze	京都大学 農・博	"Beyond Medical Care: Assessing the Impact of Health Insurance Premium Subsidy Policy on Calorie Consumption and Physical Productivity in China"
	Wenrui Jiang	京都大学 農・博	"Understanding Refugee-Host Relations through Misperceptions about Intergroup Generosity"
	上野 洋太郎	京都大学 経・修	"Trade Structure, Finance, and Microfinance"
	福本 陽菜	京都大学 農B4	「マラウイにおける食事の多様性指標(Dietary Diversity Score)と身体的特徴(Weight-for-age)の関係性について」
	高橋 梨佳子	京都大学 農B4	"How Does Overconfidence Affect Technology Adoption, Yield, and Income? Evidence from Zambian Farmers"
	手島 健介	同志社大学・教授	"From Samurai to Skyscrapers: How Transaction Costs Shape Tokyo"
	Ao Liu	京都大学 農・博	"Peer Effects on Vaccine Uptake"
	Minh Le	京都大学 経・博	"How Do Small Firms Respond to Labor Law Reform and Increasing Labor Enforcement? Evidence from Vietnam's Inspection Policy"
3/11	David ERNST	京都大学経済学研究科 博士後期課程	"Gendered Infant Mortality in the Year of the Fire Horse"
	Variya KUNAPASUT	立命館アジア・日本研究所 専門研究員	"The impact of Primary Education Reforms on Women's Socio-economic Outcomes: Empirical Evidence from Nepal"

Seminar series

2024年度 経済学研究科公認セミナー開催一覧(セミナー名五十音順)

日付	講師 (敬称略)	所属・職位	演題
応用ミクロ経済学セミナー			
4/26	Weina Zhou	Associate Professor, Dalhousie University	"Waste recycling and water pollution"
5/31	Stephane Mechoulan	Associate Professor, Dalhousie University	"Testing for Discrimination in Large Law Firms: an Outcome Test Approach"
6/14	David Chan	Associate Professor, Stanford University	"The productivity of professions: Evidence from the emergency department"
6/21	Samuele Lo Piano	University of Reading	"Energy Demand and its Temporal Flexibility"
6/28	守屋 隆弘	ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校・博士候補生	"Communication Technology Advance and Consequences: Using Two-sided Search Model"
7/8	Elena Capatina	Australian National University	"Health Shocks, Health Insurance, Human Capital, and the Dynamics of Earnings and Health"
7/12	Mirka Zvedelikova	大阪大学社会経済研究所・特任助教	"Husband's Retirement and Housework Burden: Unpacking Gender Dynamics in Japanese Marriages"
9/13	門脇 諒	一橋大学 社会科学高等研究院・特任講師	"Early Disclosure and Patent Value: How Do You Know You Are a Pioneer?"
9/19	Kwame Adjei-Mantey	Lecturer, University of Environment and Sustainable Development	"Household air pollution and child cognitive ability in Ghana"
9/20	石丸 翔也	一橋大学大学院経済学研究科・講師	"What Do We Get from Two-Way Fixed Effects Regressions? Implications from Numerical Equivalence"
9/25	Gunnar Gutsche	Lecturer, University of Kassel	"Overcoming Barriers to Sustainable Investment in Japan"
	Paul Smeets	Professor, University of Amsterdam	"The Impact of Regulating Greenwashing: Evidence from Europe's Sustainable Finance Disclosure Regulation(SFDR)"
10/15	Ashley Wong	Tilburg University	"The Entrepreneurial Gender Gap: Role of Motherhood and Maternity Leave"
10/18	Naijia Guo	Assistant Professor, University of Hong Kong	"Effect of childbirth on intrahousehold bargaining, resourceallocation, and women's welfare: Revisiting the child penalty from a household perspective"
1/17	Yujung Hwang	Assistant Professor, Johns Hopkins University	"Designing an Immigrant Integration Policy"
2/18	Arunima Malik	Associate Professor, The University of Sydney	"Sustainability assessments using input-output tables"
2/28	Akihiro Omura	Senior Lecturer, Griffith University	"CAMELS and Green Gold: Do green bonds affect Banks performance?"

Seminar series

2024年度 経済学研究科公認セミナー開催一覧(セミナー名五十音順)

日付	講師（敬称略）	所属・職位	演題
会計学セミナー			
6/8	若林 靖永	京都大学名誉教授・哲学的企業家研究寄附講座客員教授	「会計専門家あるいはCFOがおさえておくべき21世紀のマーケティングの課題」
6/9	Lukas Goretzki	Professor of Management Accounting & Control , Department of Accounting, StockholmSchool of Economics	"Automating Accounting Work in Shared Service Centers – Hopes and Dissilusionments".
10/19	平田 宏文	京都大学大学院経済学研究科博士後期課程	「ヒューマン・マシン・ネットワークを介した公共部門における深化的・探索的協同イノベーションの効果」
11/9	繁本 知宏	香川大学経済学部准教授	「社債投資家から見た財務情報報告の現状と課題」
11/15	Shu-Ling Wu	Associate Professor, National Taiwan University	"Rollover Risk and Tax Avoidance" コメンテーター：米山 正樹（東京大学大学院経済学研究科・教授）
	Yu-Fang Chu	Assistant Professor, National Taiwan University	"SPACs and Risk Factor Disclosures" コメンテーター：草野 真樹（京都大学大学院経済学研究科・教授）
12/14	白木 秀典	千葉商科大学経済研究所研究員（客員教授）	「近年の医療機関の生産性から考えた経営管理の課題」
1/11	Sven Modell	Professor of Management Accounting, Alliance ManchesterBusiness School	"Accounting in the New Space Age: Research Opportunities and Challenges"
2/8	目時 壮浩	早稲田大学大学院会計研究科・教授（管理会計）	「プロセス断片的な会計情報の利用がコントロールに与える影響」
3/8	篠原 巨司馬	福岡大学 商学部経営学科 教授	「戦略実践としての管理会計 戦略管理会計の展開と経営計画の実践」
経営学セミナー			
4/17	Hee-Chan Song	Assistant Professor, Sasin School of Management	"Buddhism and capitalism"
5/17	Pia Helbing	Lecturer (Assistant Professor) in Finance, The University of Edinburgh, University of Edinburgh Business School	"Does the same investment team create value? Evidence from venture capital syndication"
5/22	Foy Shirah	Assistant Professor of Entrepreneurship, Strategy & Innovation at TBS Education (Toulouse BusinessSchool), France	"Conducting Research on Culture, Psychology and Organization Studies: Challenges and Opportunities"
5/29	Gerardo Patriotta	Professor, Organization Studies at the School of Management, University of Bath	"Crafting papers for publication: novelty and convention in academic writing"
6/25	Jean Clarke	Professor, Entrepreneurship and Organization, Emlyon Business School, France	"That's a whole other story: How entrepreneurial stories are co-constructed between entrepreneurs and investorsthrough alignment and affiliation in situated interactions"
6/26	Shirah Foy	Assistant Professor, Department of Strategy, Entrepreneurship & Innovation TBS Education in Toulouse, France	"Latent Hybridity: Driving Mission Drift at the Solar Impulse Foundation"
7/8	宮島 英昭	早稲田大学 商学学術院・教授	"Managing Ownership by Management"
7/12	Anna Grosman	Professor, Institute for Innovation and Entrepreneurship, Loughborough UniversityLondon, United Kingdom	"The Impact of Ownership on Strategy: Owner Diversity and Nonfinancial Objectives"
7/25	Motoki Watabe	Professor, Sunway Business School, Sunway University, Malaysia	"Conditions under which "Good People" are Rewarded in Organizations: Experimental Studies"
8/23	Maxim Voronov	Professor, Schulich School of Business, York University	"Theoretical Contributions – Challenges and Opportunities"
10/17	Niina Nummela	Professor of International Business, Vice Dean, University of Turku	"When David meets Goliath – building trust in cross-cultural business negotiations in Estonian –Japanesecollaboration"
10/21	Manju Puri	Professor, Duke University	"From Competitors to Partners: Banks’ Venture Investments in Fintech"
10/24	Alvaro CUERVO-CAZURRA	CEM Professor of Global Sustainability and Professor of International Business and Strategy, Northeastern University, D’Amore-McKim School of Business	"CARBON PRICING AND MULTINATIONALS’ CLIMATE CHANGE MITIGATION STRATEGIES"

Seminar series

2024年度 経済学研究科公認セミナー開催一覧(セミナー名五十音順)

日付	講師 (敬称略)	所属・職位	演題
経営学セミナー (続き)			
11/7	Vesa Peltokorpi	広島大学・教授	"Approaches and Personal Reflections on Using Qualitative Research Methods in International Business"
11/27	Marco Becht	Professor, Solvay Brussels School for Economics and Management, Université libre de Bruxelles (ULB)	"Voice Through Divestment"
11/28	Linda Canina	Professor, SC Johnson College of Business, Cornell University	"The Impact of Brand and Management Contractual Alliances on Financial Performance"
12/3	Izidin El Kalak	Senior Lecturer (Associate Professor) in Finance, Cardiff Business School, Cardiff University	"Propagation of ESG-Linked Compensation through Boardroom Connections"
3/3	Daphne Demetry	Associate Professor, Strategy & Organization, McGill University	"Cutting the apron strings: Protégé strategic distinctiveness in reference to a mentor in creative industries"
3/31	Anis Samet	Professor of Finance, American University of Sharjah	"Country-level corporate ethical behavior perceptions and the cost of bank equity: International evidence"
国際経済学セミナー			
4/18	稲田 光朗	宮崎公立大学・准教授	"The Impact of policy uncertainty on foreign direct investment in services: Evidence from affiliate-level dataand the role of regional trade agreements"
5/23	Alireza Naghavi	Professor, University of Bologna	"Slice to Protect"
6/6	Sungwan Hong	Ph.D. candidate, Pennsylvania State University	"Green Industrial Policies and Energy Transition in the Globalized Economy"
6/20	武田 史郎	京都産業大学・教授	"The effects of Japan-China trade decoupling: A computable general equilibrium analysis"
7/4	楊 起中	東洋大学・准教授	"Impact of border rejection experience on export performance: Firm-level evidence from China"
11/7	Jan Fidrmuc	Professor, Université de Lille	"Migration and Regional Adjustment to Asymmetric Shocks in Turkey"
12/26	武田 航平	Assistant Professor, National University of Singapore	"On City Growth: A Skill Portability Approach"
2/6	朱 連明	大阪大学社会経済研究所	"Labor Market Power, Migration, and Trade"
	吉岡 健太	京都大学大学院経済学研究科 修士課程 1 年	"An empirical study on the impact of financial liquidity and import competition on US manufacturing firms"
	小林 広樹	京都大学大学院経済学研究科 修士課程 2 年	"Political Uncertainly of Brexit and the Japanese Manufacturing Industry"

Seminar series

2024年度 経済学研究科公認セミナー開催一覧(セミナー名五十音順)

日付	講師 (敬称略)	所属・職位	演題
史的分析セミナー			
4/20	古月 翔矢	京都大学／グラスゴー大学	「イギリス海軍による艦船建造の委託：ブラックウォール造船所を事例に（1688年～1714年）」
	相川 雄哉	同志社大学	「産地の発展における人的資本と協同行動の役割：兵庫県・丹波陶磁器産地の事例、1959 -2022 年」
	佐藤 秀昭	大阪大学	「『イエ』的経営慣行と“family business”の間 ――家族システムと国際比較による再検討」
	黒澤 隆文	京都大学	
6/20	瀧本 哲哉	京都大学 経済学部 研修員	「近代京都の〈被差別空間〉：部落・在日・遊郭の経済的差別」
10/22	Eric Golson	Associate Professor, School of Economics, University of Surrey	"Evading Trade Sanctions Using Organizational Structure: A Case Study of Swedish Ball Bearings Firm SKF, 1939-1945"
12/6	藤田 葵	京都大学大学院農学研究科D2	「農業分野の株式会社の成立―北海道・日高国『赤心社』設立当初の事業活動をケースとして―」
	山本 浩司	東京大学大学院経済学研究科准教授	「『旧き腐敗』の発生原理―ウェストミンスター石鹸会社とロンドン石鹸工の生き残り戦略、1632-1636」
1/20	白貞壬（ベック ジョンイム）	流通科学大学 教授	「コンビニのリバース・イノベーション/The Reverse Innovation of Convenience Stores」
1/28	川邊 信雄	早稲田大学・文京学院大学 名誉教授	「日系コンビニエンス・ストアの国際展開―流通近代化を超えて/International Expansion of Japanese Convenience Stores: Beyond」
3/5	黒澤 隆文	京都大学経済学研究科 教授	"The dynamics of the “first industry”: a long-term global history of textiles"
	Jan Logemann	Privatdozent (Lecturer), Georg-August-Universität Göttingen	"Corporate Growth in a 'Taboo Market': The Deathcare Industry in the United States since the early 20th Century"
	久野 愛	東京大学 情報学環・学際情報学府 准教授	"Crossing Boundaries: Industrial Designers and Multi-Industry Work"
	Matthias Kipping	Professor of Policy, Schulich School of Business, York University	"How the management consulting industry became hegemonic: emergence, expansion, explosion"
	Yen Nie YONG	京都大学経済学研究科 特定講師	"Gendered Productivity in State Capitalism: The Case of Singapore Airlines, 1960s-2010s"
3/11	小堀 聡	京都大学 人文科学研究所 准教授	「1970年代日本の原子力政策：軽水炉実用化の推進と対策」

Seminar series

2024年度 経済学研究科公認セミナー開催一覧(セミナー名五十音順)

日付	講師 (敬称略)	所属・職位	演題
マクロ経済学セミナー			
4/3	Cyril Monnet	University of Bern	"Truth by Consensus: A theory and experimental evidence"
4/18	高 東也	大阪大学 経済学研究科	"On the Welfare Cost of Constrained Female Labor Supply"
5/17	亀井 慶太	西南学院大学 経済学部 国際経済学科	"The Effects of Production Subsidies and Taxation on Employment in Oligopolistic General Equilibrium"
	天龍 洋平	新潟県立大学 国際経済学部	"Production externality, industrial growth, and patent cooperation"
6/6	阿曾沼 多聞	国際通貨基金	"Output Dynamics and Private Sector Access during Sovereign Debt Crises"
10/4	Aspen Gorry	Clemson University	"Structural Change in Production Networks and Economic Growth" coauthored with Paul Gaggl and Christian vom Lehn"
10/25	原 尚子	成蹊大学 経済学部 経済数理学科	"Is the optimal inflation target 2%?: Answer from the wealth preference approach"
	山本 和博	同志社大学 経済学部経済学科	"A welfare analysis of a monocentric city model under monopolistic competition with heterogeneous firms and variable elasticity of substitution preference"
11/1	James Morley	University of Sydney	"How Does Tax and Transfer Progressivity Affect Household Consumption Insurance?"
11/8	Niklas Engbom	New York University	"Misallocative Growth"
11/19	Chikako Baba	Senior Economist, International Monetary Fund	"Asia's Structural Transformation: The Past and Prospects" coauthored with Natasha Che, Federico Diez, Rahul Giri, Tristan Hennig, and Weining Xin"
	Anne Oeking	Economist, International Monetary Fund	
12/20	廣瀬 康生	慶應義塾大学 経済学部	"Connecting Exchange Rates to Fundamentals Under Indeterminacy"
1/23	Minki Kim	University of Mannheim	"Land Reform, Human Capital Accumulation, and Structural Transformation"
3/24	Xiaodong Zhu	University of Hong Kong	"Bottom-up Institutional Change and Growth in China"
3/28	保里 俊介	一橋大学 経済学研究科	"Explosive boom and bust with land price bubbles in a macro-finance mode"

KAKENHI Adopter list

2025年度(令和7年度) 科研費採択者一覧

経済学研究科

参照) KAKENデータベース

研究者名	職位	研究種目	研究課題タイトル	領域番号	配分区分	研究分野 (審査区分)	配分	研究機関・年度
依田 高典	教授	基盤研究(B)	異質性を用いた最適政策割当の理論実証研究：ポリシー・ターゲティングの社会実装化	25K00631	基金	経済政策関連	17,940千円 (直接経費: 13,800千円、間接経費: 4,140千円) 2029年度: 2,340千円 (直接経費: 1,800千円、間接経費: 540千円) 2028年度: 3,770千円 (直接経費: 2,900千円、間接経費: 870千円) 2027年度: 3,770千円 (直接経費: 2,900千円、間接経費: 870千円) 2026年度: 3,770千円 (直接経費: 2,900千円、間接経費: 870千円) 2025年度: 4,290千円 (直接経費: 3,300千円、間接経費: 990千円)	京都大学 2025-04-01 – 2030-03-31
VU HATHU	特定助教	基盤研究(B)	Barriers to Forest Certification Adoption and their Implications to Household Welfare: Exploring the Role of Contract Farming and Insurance	25K00094	基金	食料農業経済関連	15,990千円 (直接経費: 12,300千円、間接経費: 3,690千円) 2028年度: 3,900千円 (直接経費: 3,000千円、間接経費: 900千円) 2027年度: 3,900千円 (直接経費: 3,000千円、間接経費: 900千円) 2026年度: 3,900千円 (直接経費: 3,000千円、間接経費: 900千円) 2025年度: 4,290千円 (直接経費: 3,300千円、間接経費: 990千円)	京都大学 2025-02-28 – 2029-03-31
佐々木 啓明	教授	基盤研究(C)	オートメーションが進行する経済における所得再分配政策が経済成長と格差に与える影響	25K05053	基金	経済政策関連	4,680千円 (直接経費: 3,600千円、間接経費: 1,080千円) 2027年度: 1,430千円 (直接経費: 1,100千円、間接経費: 330千円) 2026年度: 1,430千円 (直接経費: 1,100千円、間接経費: 330千円) 2025年度: 1,820千円 (直接経費: 1,400千円、間接経費: 420千円)	京都大学 2025-04-01 – 2028-03-31
北田 雅	講師	基盤研究(C)	うつ病自己評価尺度と生活実態調査を用いた学修状況悪化のスクリーニング法の開発	25K06350	基金	高等教育学関連	3,770千円 (直接経費: 2,900千円、間接経費: 870千円) 2029年度: 910千円 (直接経費: 700千円、間接経費: 210千円) 2028年度: 520千円 (直接経費: 400千円、間接経費: 120千円) 2027年度: 910千円 (直接経費: 700千円、間接経費: 210千円) 2026年度: 520千円 (直接経費: 400千円、間接経費: 120千円) 2025年度: 910千円 (直接経費: 700千円、間接経費: 210千円)	京都大学 2025-04-01 – 2030-03-31
羽村 靖之	講師	若手研究	多次元データの情報を有効に組み合わせるためのベイズ統計の手法に関する研究	25K21163	基金	統計科学関連	2,340千円 (直接経費: 1,800千円、間接経費: 540千円) 2029年度: 260千円 (直接経費: 200千円、間接経費: 60千円) 2028年度: 780千円 (直接経費: 400千円、間接経費: 180千円) 2027年度: 260千円 (直接経費: 200千円、間接経費: 60千円) 2026年度: 260千円 (直接経費: 200千円、間接経費: 60千円) 2025年度: 780千円 (直接経費: 600千円、間接経費: 180千円)	京都大学 2025-04-01 – 2030-03-31
星野 哲也	准教授	国際共同加速基金 (帛国発展研究)	大規模経済と動学的環境における合理的不注意の理論	24K23942	基金	社会科学	7,540千円 (直接経費: 5,800千円、間接経費: 1,740千円)	京都大学 2025-02-05 – 2028-03-31
依田 高典	教授	挑戦的研究(萌芽)	行動経済学の「バイアス」と生成AIの「ペルソナ」の融合研究	25K21898	基金	経済学、経営学 およびその関連分野	6,500千円 (直接経費: 5,000千円、間接経費: 1,500千円) 2027年度: 1,950千円 (直接経費: 1,500千円、間接経費: 450千円) 2026年度: 2,600千円 (直接経費: 2,000千円、間接経費: 600千円) 2025年度: 1,950千円 (直接経費: 1,500千円、間接経費: 450千円)	京都大学 2025-06-27 – 2028-03-31

経営管理研究部

研究者名	職位	研究種目	研究課題タイトル	領域番号	配分区分	研究分野 (審査区分)	配分	研究機関・年度
安達 貴教	教授	基盤研究(C)	垂直的企業合併評価のための十分統計量アプローチ	25K05102	基金	経済政策関連	4,680千円 (直接経費: 3,600千円、間接経費: 1,080千円) 2028年度: 910千円 (直接経費: 700千円、間接経費: 210千円) 2027年度: 1,170千円 (直接経費: 900千円、間接経費: 270千円) 2026年度: 1,170千円 (直接経費: 900千円、間接経費: 270千円) 2025年度: 1,430千円 (直接経費: 1,100千円、間接経費: 330千円)	京都大学 2025-04-01 – 2029-03-31
門傳 藍香	講師	若手研究	プラットフォーム台頭下における小売企業のマルチチャネル戦略に関する経済理論分析	25K16754	基金	商学関連	4,680千円 (直接経費: 3,600千円、間接経費: 1,080千円) 2028年度: 1,040千円 (直接経費: 800千円、間接経費: 240千円) 2027年度: 1,040千円 (直接経費: 800千円、間接経費: 240千円) 2026年度: 1,300千円 (直接経費: 1,000千円、間接経費: 300千円) 2025年度: 1,300千円 (直接経費: 1,000千円、間接経費: 300千円)	京都大学 2025-04-01 – 2029-03-31
天野 良明	准教授	若手研究	非財務情報開示が企業のM&Aに与えるリアル・エフェクト	25K16771	基金	会計学関連	4,810千円 (直接経費: 3,700千円、間接経費: 1,110千円) 2027年度: 1,430千円 (直接経費: 1,100千円、間接経費: 330千円) 2026年度: 1,430千円 (直接経費: 1,100千円、間接経費: 330千円) 2025年度: 1,950千円 (直接経費: 1,500千円、間接経費: 450千円)	京都大学 2025-04-01 – 2028-03-31
関口 倫紀	教授	挑戦的研究(萌芽)	経営学に対する音楽研究の体系的な適用	25K21899	基金	経済学、経営学 およびその関連分野	6,240千円 (直接経費: 4,800千円、間接経費: 1,440千円) 2027年度: 2,340千円 (直接経費: 1,800千円、間接経費: 540千円) 2026年度: 2,600千円 (直接経費: 2,000千円、間接経費: 600千円) 2025年度: 1,300千円 (直接経費: 1,000千円、間接経費: 300千円)	京都大学 2025-06-27 – 2028-03-31

KAKENHI Adoption status
2025年度(令和7年度) 科研費採択状況

経済学研究科 科研費応募・内定・決定データ（H25-R7）

■新規・応募内定

Table with 10 columns: Researcher ID, Special Promotion Research (Applicants, Fixed Positions, Adoption Rate), New Academic Field Research (Applicants, Fixed Positions, Adoption Rate), Academic Field Research (Applicants, Fixed Positions, Adoption Rate), and Academic Field Research (Applicants, Fixed Positions, Adoption Rate).

※R7経営管理大学院（経済教員協参加）⇒

Table with 4 columns: Researcher ID, Applicants, Fixed Positions, and Adoption Rate. Summary table for the new application and internal determination.

※挑戦的研究(萌芽・開拓の結果を含まず)
※R7経営管理大学院（経済教員協参加）の応募9、内定3を含めると 8/25 32.0%

Large table with 18 columns: Researcher ID, Basic Research (S), Basic Research (A), Basic Research (B), Basic Research (C), and Challenging Research (萌芽/開拓). Includes detailed adoption statistics for various research categories.

※ 応募1、内定0を含めると0/1 (0.0%) ※ 応募2、内定0を含めると0/4 (0.0%) ※ 応募1、内定0を含めると2/4 (50.0%) ※ 応募1、内定1を含めると3/6 (50.0%) ※ 応募1、内定1を含めると1/2 (50.0%) ※ 応募1、内定0を含めると0/2 (0.0%)



参照:【H25-H27】科研費応募・内定・決定データ(職員責任データ)
2016.6改訂版確認、変更なし
【H28】20160408(経済) 科研費申請・採択状況 (URA型)
【C03】科研費採択額データ (URA型)
【H28】20170601 KAREN_GSEconomics(学術研究支援型)
20170901(改定) H29科研費内定データ (URA型)
経済管理大学院データ (外部資金型)
【H30】2018.4 科研費応募採択状況(経済・経営管理大学院データ(外部資金型)
公共政策大学院・国際経済学専攻データ(外部資金型)
地球環境学データ(理系 共通・補助金型)
20180704(改定) 科研費採択状況(経済・経営管理大学院データ(外部資金型)
【C03】科研費応募・内定・経済・経営管理大学院データ(外部資金型)
20190705(改訂) 科研費内定一覧 (KARENデータベース)
【C03】2020.23科研費応募(外部資金型)
R3 科研費応募・採択状況(経済・経営管理) (外部資金型)
R4 科研費応募採択状況(経済・経営管理) (外部資金型)
2023応募データ 経済学研究科・経営管理OUBODATA 2023年度内定データ 経済学研究科・内定(外部資金型)
経済・経営2024応募データ 経済・経営 2024年度内定データ(外部資金型)
応募データ_202504251410_20250401交付内定 R7内定時・提出一覧(外部資金型)

	若手研究 (A) H27新採用より一部基金を廃止し、補助金 H30より若手研究(A)の新規公募は停止。 「基盤研究」種別群等に移行			若手研究 (B) H30より「若手研究」と名称変更			国際共同研究強化(H27年度新設)			H30より国際共同研究強化 (B) R5より国際共同研究加速基金 (海外連携研究)			研究活動スタート支援 (8月下旬交付内定) R1より基金化			研究成果公開促進費(学術図書)			奨励研究		
				若手研究			H30より国際共同研究強化 (A) R5より国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化)			H30より国際共同研究強化 (B) R5より国際共同研究加速基金 (海外連携研究)			研究活動スタート支援 (8月下旬交付内定) R1より基金化			研究成果公開促進費(学術図書)			奨励研究		
	応募件数 (A)	内定件数 (B)	採択率 (B/A)	応募件数 (A)	内定件数 (B)	採択率 (B/A)	応募件数 (A)	内定件数 (B)	採択率 (B/A)	応募件数 (A)	内定件数 (B)	採択率 (B/A)	応募件数 (A)	内定件数 (B)	採択率 (B/A)	応募件数 (A)	内定件数 (B)	採択率 (B/A)	応募件数 (A)	内定件数 (B)	採択率 (B/A)
H25				2	1	50.0%							1	0	0.0%				1	0	0.0%
H26				4	2	50.0%															
H27				6	3	50.0%	1	1	100.0%				2	1	50.0%	1	0	0.0%			
H28				2	2	100.0%															
H29	1	1	100.0%	2	2	100.0%															
H30				7	1	14.2%															
R1				6	2	33.3%										1	0	0.0%			
R2				8	5	62.5%															
R3				3	3	100.0%															
R4				6	5	83.3%							2	2	100.0%						
R5				3	2	66.7%				1	0	0.0%	1	1	100.0%						
R6				2	2	100.0%							1	0	0.0%						
R7				4	1	25.0%	1	1	100.0%												

※ 応募2、内定2を含めると3/6 (50.0%) ※ (韓国発展研究) R7

Discussion Papers

ディスカッションペーパー(2024年度)

ディスカッション・ペーパーは、2015年9月まで、経済学研究科附属プロジェクトセンターの成果の一部として、発行してまいりました。
今後は、経済学研究科のワーキングペーパーとして、ディスカッション・ペーパーの名称を継承しながら発行してまいります。

E-15-006 (J-15-001) まで : 経済学研究科附属プロジェクトセンター 発行

E-15-007 (J-15-002) 以降 : 経済学研究科 発行

English

- E-23-007-V2 Masahiro Kawasaki, Ryosuke Sakai, Tomoya Kazumura “Sequential dictatorship rules in multi-unit object assignment problems with money”
- E-24-001 Yijun Yu, Hisaki Kono “Fertility Policy and Gender Discrimination in the Workplace: Evidence from the Two-Child Policy Reform in China”
- E-24-002 Jinsong Li, Kenji Takeuchi “Do Municipal Mergers Promote Recycling?”
- E-24-003 Hisaki KONO, Bich-Ngoc T. Pham “Decomposing Inclusive Growth: Application to Household Survey Data in Vietnam”
- E-24-004 Wataru Ishida, Yusuke Iwase, Taro Kumano “Efficient and (or) fair allocations under market-clearing constraints”
- E-24-005 Bitu Puspitasari, Tomoki Sekiguchi “Power-dependence in Regulated Social Enterprise: Evidence from Human Resource Management Practices at Continuous Employment Support Offices for People with Disabilities in Japan”
- E-24-006 Satoshi KAWAKATSU, Tomoki SEKIGUCHI “Entrepreneurs’ psychological resilience and well-being”
- E-24-007 Ikuto Aiba, Atsushi Tadokoro “On Trade Models with Variable Markups and Pareto-Distributed Productivity”
- E-24-008 Alexis Sandes, Tomoki Sekiguchi “The influence of the Viveza in the Latin American Business Environment: Exploring and mapping a regional psychological construct”
- E-24-009 Tadashi Sekiguchi and Katsutoshi Wakai “Nash Reversion Revisited: Implications of Gain/Loss Asymmetry”

Japanese

- J-24-001 迫田周大, 貴志恒介, 柳淳也, 山田 仁一郎 “個人のウェルビーイングと組織レジリエンスを兼備する「事業のポータビリティ」: IT企業の事例分析
- J-24-002 加藤将義, 三好雅幸, 柳淳也, 山田 仁一郎 “「自律・分散・協調型社会」における組織モデル

京都大学大学院経済学研究科
附属プロジェクトセンター
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
法経済学部東館 305号
TEL.075-753-3443
2026年 1 月発行

